

特集

# 新型コロナウイルスワクチン最前線

## ワクチン接種の現場から

いまだに猛威を振るい続ける新型コロナウイルス感染症。それに対抗するための手段がコロナワクチン接種です。

ワクチン接種をすることで感染リスク、感染した際の重症化リスクが軽減され、一安心したかたも多いでしょう。

その安心の裏には、医療従事者をはじめ、さまざまなかたがたの努力があります。

今号では、ワクチン接種の最前線で活躍しているかたを紹介します。



# 安心した暮らしのために

町では、7月14日から64歳以下を対象とした新型コロナウイルスワクチン接種が始まりました。12歳以上もワクチン接種の対象となり、中学生や高校生らも会場で接種を受けています。少しでも安心して外出できるように。役場のワクチン接種担当職員に、町のワクチン接種状況を聞きました。

65歳以上の高齢者を対象にした本町のワクチン接種計画は、5月12日から町総合体育館など5つの会場で12日間をかけた行われました。

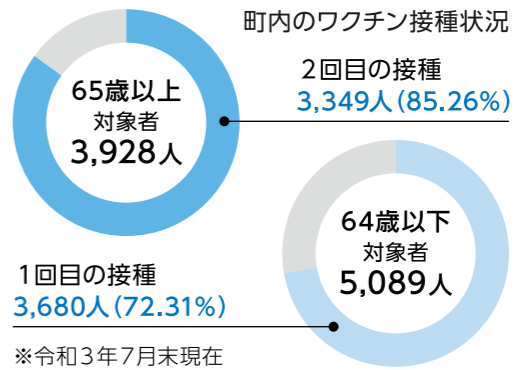


会場となった町文化ホールの様子

予約初日は、コールセンターでの電話予約やインターネット予約での受付を行いました。電話が集中しつなかりにくい状況となったため、急きょ窓口での対応をしました。改善のために、次の予約からは当初から窓口での受付を行い、混雑が緩和しました。

高齢者の接種では、交通手段を持たないかたのために、近くの拠点地域での接種を行いました。密が避けられない場所では、会場内への入場規制などをして

対応しました。接種は、次のグラフにもあるように町内の医療従事者の協力で65歳以上の接種はほぼ予定どおり行うことができました。



64歳以下の接種は、ワクチンの供給量が当初、不明だったため、接種計画が立てられない状況でしたが、対象者2回分の供給が確定したことで、医師と相談。1日当たりの接種者数の拡大や時間延長、日曜・祝日も対応する計画を立てました。

会場は、熱中症予防の観点から、冷房が効く町文化ホールと



増設した予約専用回線

獅子島アイランドセンターに限定しました。電話予約は、混雑を避けるため、コールセンター以外に予約専用として7回線を増設。予約に関しては、65歳以上は電話予約や窓口予約が大半を占め、ネット予約は約3割程度だった一方、64歳以下は約8割がネット予約を行い、混雑はありませんでした。

7月14日から行われた64歳以下の予防接種は、7月末で、対象者約5千人に対し、約7割程度が1回目の接種を終えました。



ワクチン接種担当  
役場町民保健課  
川畑幸治課長

若年者は重症化の割合が低いことや副反応が出やすいことから、不安を感じ、敬遠されるかたも少なくない状況です。デルタ株などの変異ウイルスや若年者の重症化の増加などで、今後は接種を希望されるかたが増えることが予想されます。本町は、集団接種を基本とした結果、接種率も高くなりました。その接種率によってワクチンも十分に確保でき、希望者のニーズにいち早く対応できました。これも一重に、町内の医療関係者、接種会場のスタッフの全面協力があったことであり、大変感謝しています。集団接種は、8月12日で終了しますが、今後は医療機関などで行う個別接種で対応していきたいと考えています。

コロナ禍で、何が一番大変でしたか。

日頃から心掛けていたのが、「早期発見」と「町内でのまん延防止」です。先述しましたが、やはり早期発見することにより、重症化リスクを軽減できます。町内でのまん延防止については、感染を防ぐこともですが、誹謗中傷を防ぐことも考えながら対応しています。感染の疑いであっても、プライバシーを保護することを重視しています。私自身も不安を抱えながら対応していることも事実です。人の命に関わる仕事だと分かっているため、不安は常に抱えています。

ワクチン接種を終えた後、どのようなことに気を付けたらいいですか。

私が一番恐れているのは、ワクチンを打ったかどうかで「差別」が生まれることです。それだけは気を付けてほしいと思います。



思いを語る原医師

ウイルスという見えない脅威のなか、医療従事者のかたがたは日々、最前線に対応しています。想像できないほどの忙しさを、常に緊張感を持ち神経を使う現場。その負担は、計り知れません。そんな医療従事者を代表して、長島クリニックの原善根医師に今だから伝えたい思いを伺いました。

## 最前線の努力と不安 感謝の気持ちを伝えたい

長島クリニック・原善根医師

まずは最前線で町内のワクチン接種対応にあたっていただき、ありがとうございます。始めに、先生ご自身はいつ頃にワクチンを接種しましたか。5月頃に接種しました。2回目の接種後の副反応が怖かったです。私は何事もありませんでした。ワクチン接種に不安を抱えるかたも多いと思います。接種するかたへは、どのようなことを心掛けていましたか。不安そうにしているかたには「大丈夫だよ。ワクチンを打てば生活が変わるよ」と声を掛けました。ワクチンを打たない選択をされているかたもいますが、どちらにせよ不安であることに変わりはないので、接種会場に来たかたにはもちろん、クリニックに来る患者さんにも声を掛けていました。ワクチンは接種したほうがいいですか。しないほうがいいですか。

ワクチンが怖い、強いアレルギーが出たことがあるというかたは無理に打たなくてもいいと私は思います。そうではないかたは、感染リスクも軽減され、万が一コロナに感染した場合の重症化リスクも軽減されるので、やはり接種することをおすすめします。ワクチンを含めて新型コロナウイルスについて、どのようなことを知っておいたほうがいいですか。いまはネット上でたくさん情報を得ることができて、混乱しやすい状況です。個人的な意見ですが、ネットは誰が書いたか分からないものもあり、責任を伴わない情報が多いです。そのような情報をうのみにしないでほしいです。医療関係者によっては副反応などに対する見解も分かれています。かかりつけ医を信じて、何でも相談してほしいと思います。